

# 第18回 コムズフェスティバル

平成29年1月28日(土)・29日(日)

つなげよう ひろげよう 男女共同参画の輪

すべての人が自分らしく、いきいきと生きる。

そのきっかけになるような基調講演や市民企画分科会が開催されました。

1月29日(日)に開催された基調講演では、シンクロナイズドスイミングの指導者として世界的評価を受けている井村雅代さんに、リーダーとして若い世代をどのように育ててこられたのかをお聞きしました。



## 基調講演

### 人を育てる

～愛があるなら叱りなさい～

講師：井村 雅代 さん

一般社団法人 井村シンクロクラブ代表理事  
シンクロナイズドスイミング日本代表ヘッドコーチ

2016年のリオ五輪で、日本代表ヘッドコーチとしてデュエット・チームともに銅メダルをもたらした井村雅代さん。

メダルゼロに終わったロンドン大会からの巻き返しを図るために、どのように選手を育ててこられたのか、実践と結果に裏打ちされた数々のアドバイスをいただきました。

- 叱る時のコツは、
- ①現行犯で叱る
  - ②過去のことは持ち出さない
  - ③「ここがダメだからこうしなさい」とわかりやすくストレートにいう
  - ④相手を成長させようと本気で叱る

選手に必ずメダルを取らせるという井村雅代さんの強い信念とエネルギッシュなお話、参加の皆さんも強く心を揺さぶられたようでした。明日への活力をいただいた講演でした。

## 参加者の声

- 教育において大切なこと、自分が生きていく上で大切なことを再確認できた (20代女性)
- 誰もが知っている一流の人の、貴重な体験を知ることができた (20代男性)
- エネルギーを持って、人に接することの大切さ、大変さを感じながら、全てを糧にし、自分も成長しながら人を育てることに関わりたい (30代女性)
- 「叱る」ことに悩んでいたが、明日からは臆することなく「現行犯」で叱りたい (30代男性)
- 「最高の努力」と「最高の戦略」が勝利の要因と学んだ (40代女性)
- 実績のある人の言葉は重い (40代男性)
- エネルギッシュでパワフル、そして心遣いができる方。言い訳ばかりの自分だが、変わりたいと思った (50代女性)
- 講演を直に聞くことができ、指導の全体像がわかり参考になった (50代男性)
- とても頭のよい、戦略的な方だった (50代男性)
- 前へ前へと進むことの大切さを学んだ (60代女性)
- 心・技・体にわたる愛情あふれる本音を聞けて、涙が出るほど感動した (60代男性)
- 「1mmの努力」を大切に、目標に向かって死ぬまで頑張っていこうと思った (60代男性)

講演には300名（女性：172名・男性：128名）の市民の方が参加されました。アンケートでは、「大変よかった」と回答された方が大多数でした。

井村雅代さんの著書は2階  
図書コーナーにあります。

